

基礎 Creo Parametric ②

～ 基準線 拘束 参照指定 押し出し オフセット を学ぶ ～

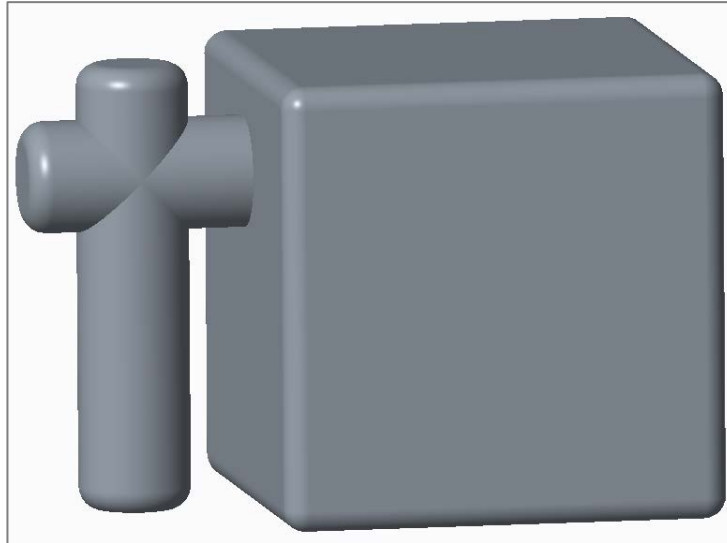


Fig.1 完成図

1. Fig.2に示すモデルツリーにおいてFRONT面を選択する。
Fig.3に示すビュー選択の中からFRONTを選択する。

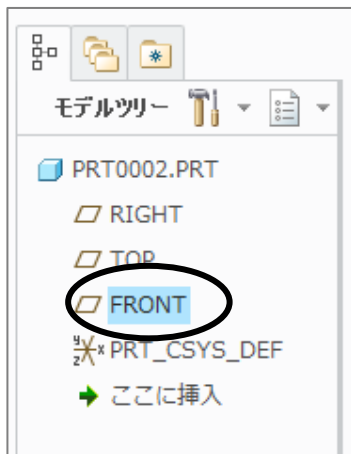


Fig.2 モデルツリー

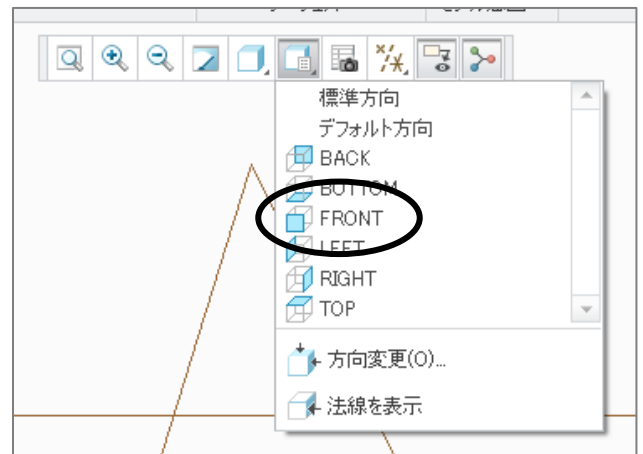


Fig.3 ビュー選択

2. スケッチボタン  を押し、スケッチを行う。

3. Fig.4に示す中心線ツールを選択し、Fig.5のように中心線を設定する。

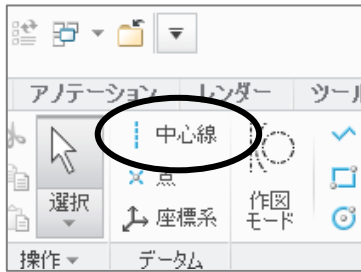


Fig.4 中心線ツール

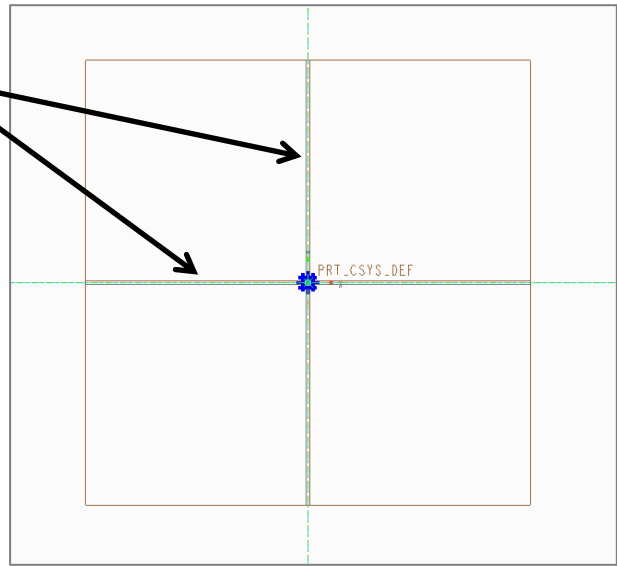


Fig.5 中心線の設定

4. Fig.6に示す線ツールを用いて、Fig.7のように適当に四角形を描く。

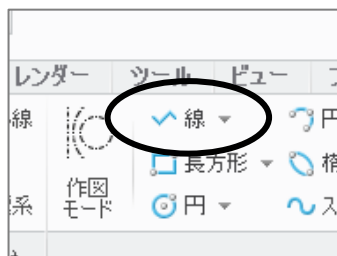


Fig.6 線ツール

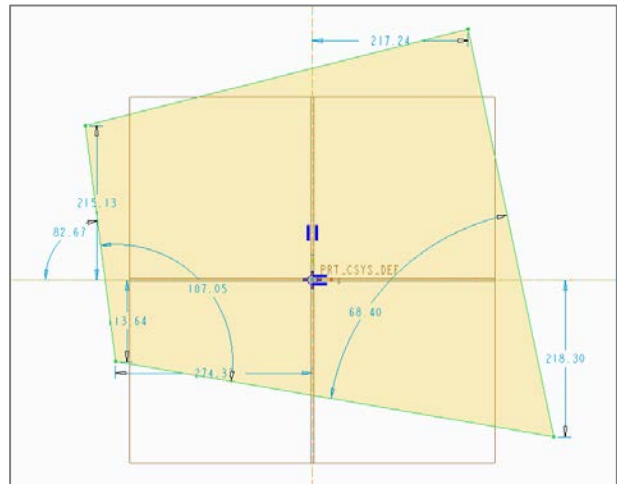


Fig.7 四角形

5. Fig.8に示す拘束ツールを用いて、Fig.9のように1辺の長さが100の正方形を描く。
拘束ツールを用いることで、「直角」「平行」「同じ長さ」などの拘束をかけることができる。
寸法は数値をダブルクリックすることで修正ができる。
軸の中心と正方形の中心を一致させること。

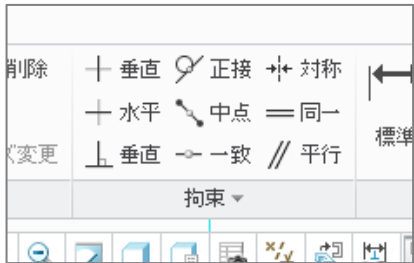


Fig.8 拘束ツール

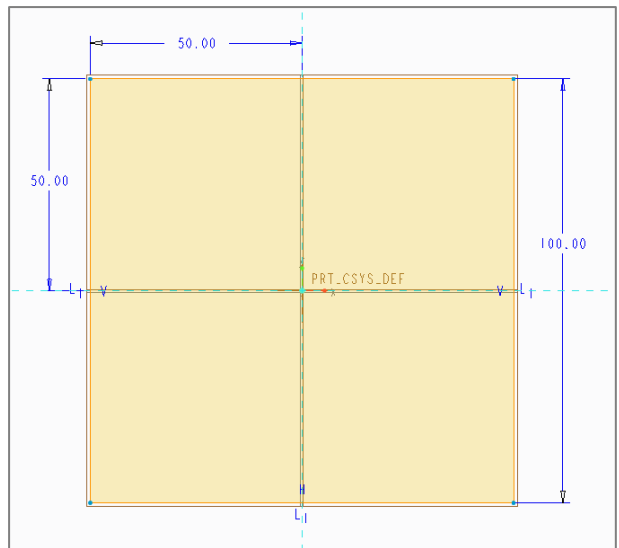
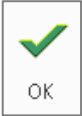



Fig.9 1辺長さが100の正方形

6. チェックボタン  を押し、スケッチを終了する。
7. 押し出しツール  を押し、正方形を100対称に押し出して、
Fig.11のように1辺の長さが100の立方体を作る。

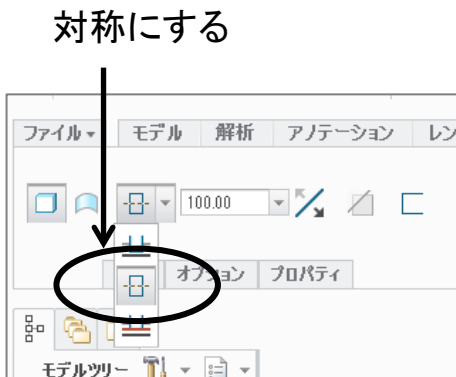


Fig.10 押し出しツールの設定

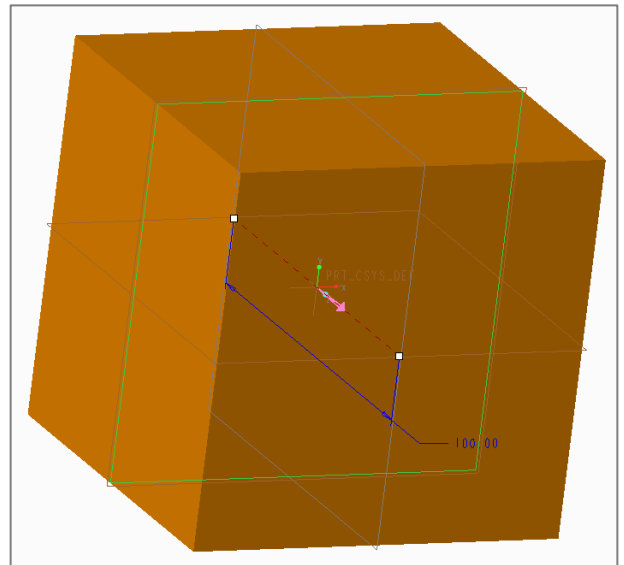



Fig.11 1辺長さが100の立方体

8. チェックボタン  を押し、押し出しを終了する。

9. Fig.12に示すような1つの適当な面を選択し、スケッチを行う。
Fig.13のように中心軸から25の位置に直径25の円を描く。

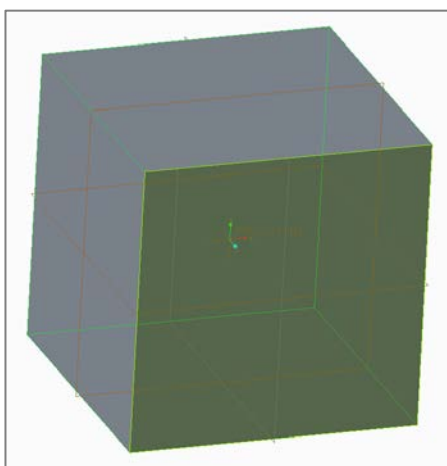


Fig.12 1つの適当な面(手前)

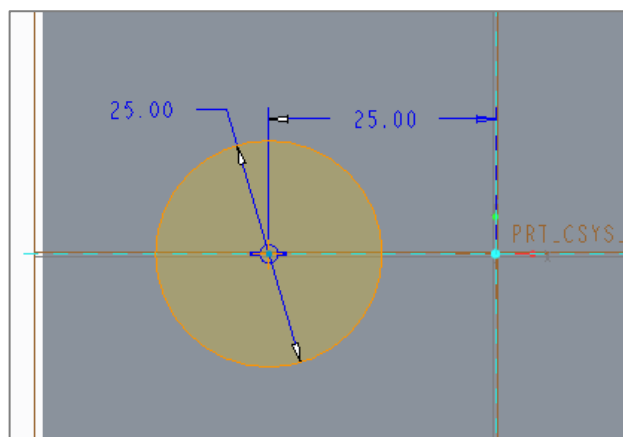


Fig.13 直径25の円

10. スケッチを終了する。
11. 押し出しツールを用いて、Fig.14のように円を50押し出す。

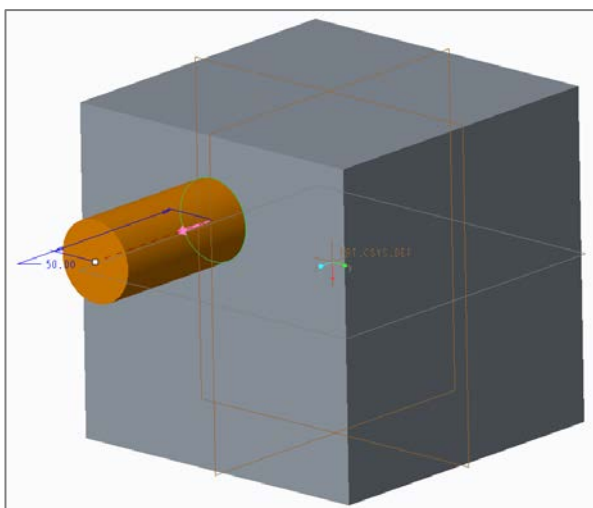


Fig.14 円の押し出し

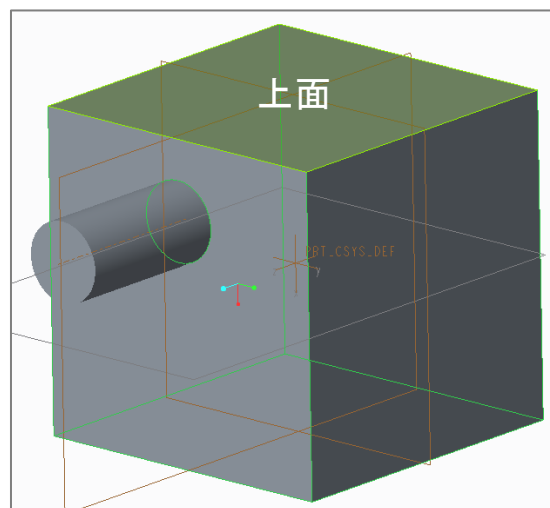


Fig.15 上面

12. 押し出し終了後、Fig.15に示す上面を選択し、スケッチを行う。

13. Fig.16に示す参照を選択し、新しい参照線(参照指定)を作成する。
Fig.17のように円柱があるエッジに参照指定を行う。

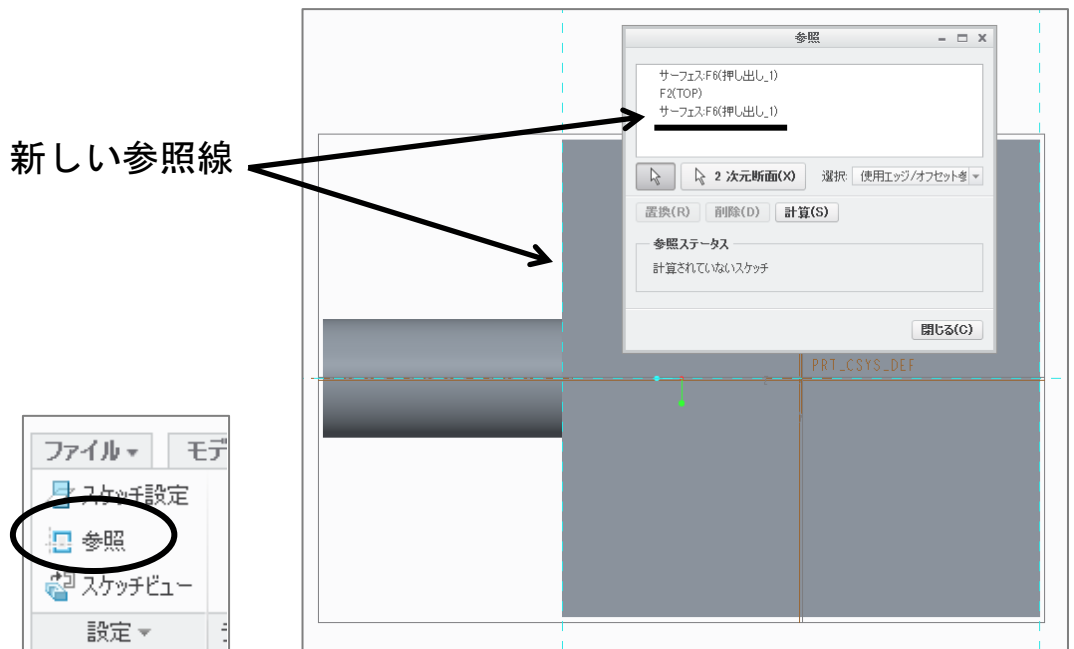


Fig.16 拘束ツール

Fig.17 参照指定

14. Fig.18のように参照指定したエッジから25の位置に直径25の円を描く。
参照指定していることで、エッジからの寸法が分かる。

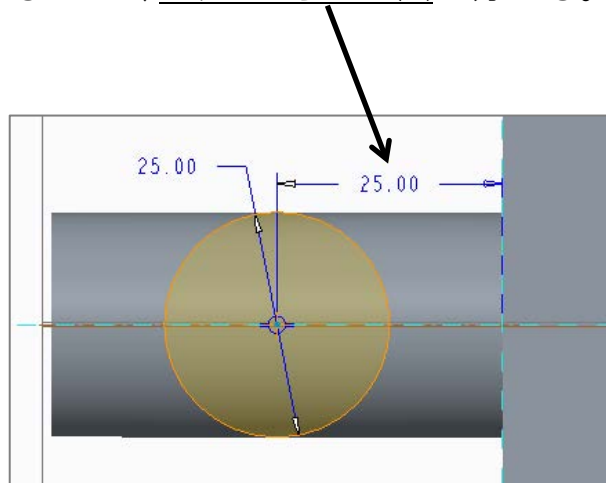


Fig.18 直径25の円

15. スケッチを終了する。

16. 押し出しツールを用いて、Fig.19のように円を円柱に向けて100押し出す。

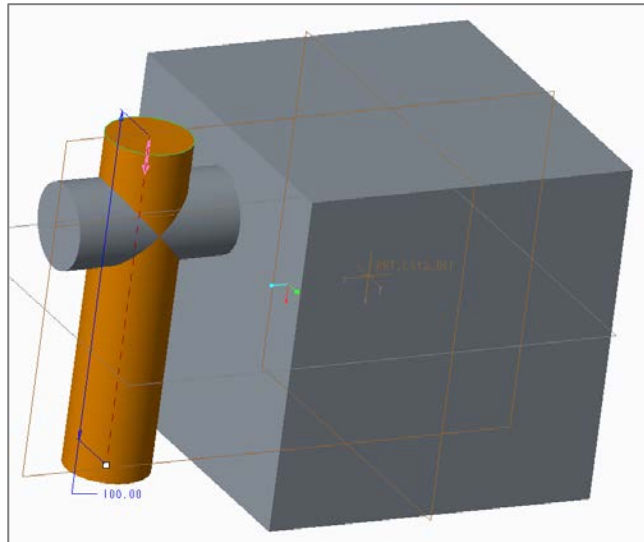


Fig.19 円の押し出し

17. 押し出し終了後、Fig.20に示すラウンドツールを選択し、Fig.21のように各辺を選択する。

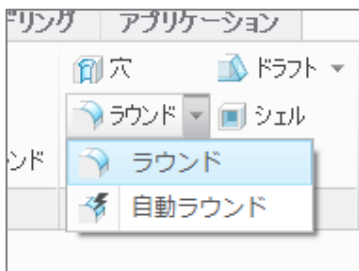


Fig.20 ラウンドツール

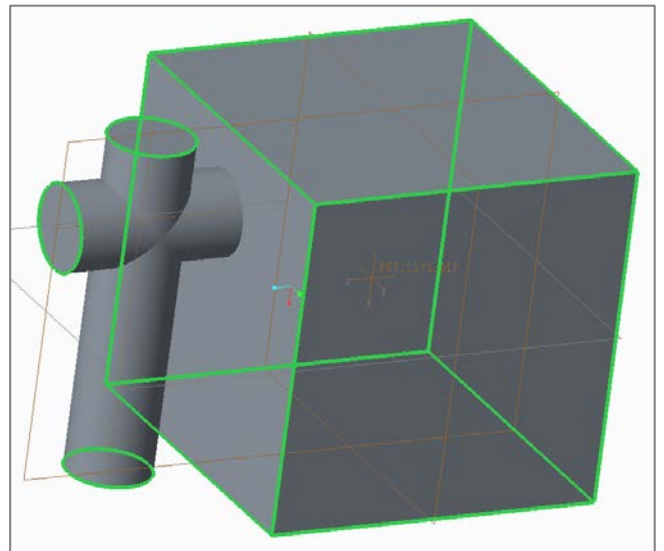


Fig.21 各辺の選択

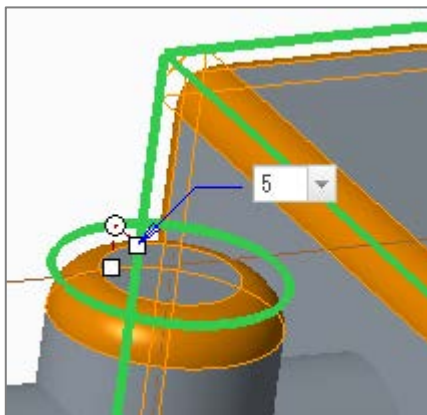


Fig.22 半径5のラウンド

18. Fig.22のように半径5のラウンドをかけ、チェックボタンを押して終了。
3Dモデルの完成。